



TEL 0766-15155
FAX 0766-15155
E-mail info@oki-shouten.com

平成十九年十月二十日
〒931-0804
高岡市問屋町四十
有限会社 沖商店 発

いつもお世話になりありがとうございます。

本通信は、私の身の周りに起こった出来事に対して私が思ったこと・感じたことを記してあります。

これを皆様にお届けし、それに対しての皆様のご意見を頂いて、それを今後の私の成長の糧とさせて頂きたいと思っています。どうぞ、忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

一 同級生からの手紙

先日、私の元へ次のような手紙が匿名で届きました。「前略 私は高校同級生のAです。」

さて、先日某所にて貴殿の『にこにこ通信』を見ました。そして驚きました。国際的、国内的、政治、経済、犯罪、家業、家庭のことなどいろいろ書いてあり、貴殿がこの様な聖人君子とは思っていませんでした。しかしながら、書いてある事と、言っていること、行動は全く一致していないように思います。是非とも直して下さい。

この様な事を書いたのは同級生で貴殿を嫌っている人がいるからです。又、同級の〇〇(実名)も利口ぶつて、偉そうな事をいう為に、嫌いな人もいます。同級生もいつまで行っても同級生です。是非仲よくしていきたくものです。」

私は、自分は勿論、他人の匿名行為も大嫌いです。匿名でなければ意見が言えないと言っ心根が、いかにも野次馬的・無責任であり卑怯な感じがするからです。それで、通常は匿名での意見には、対応しないことにしていますが、この様な(私が立派な人格の持ち主だという)誤解をしていらつしやる方が外にもおられると思い、良い機会ですので改めて私が皆様方に『にこにこ通信』をお届けしている趣旨や、私の考え、自分なりの自己評価などを記しますので、更に、それに対する皆様方のご高説を賜りますようお願い申し上げます。

この『にこにこ通信』に関しては、「第一〇〇号」に、

発行の動機、名前の由来、発行しての効用など、ほとんどのことを記してあります。是非ご参照ください(ご希望の方には再度お届けします)。それと記述がダブルかもしれないが、この度の手紙に添える形で、以下に私の本通信発刊の心中と読者の皆様へのお願いを記します。

まず、始めに申し上げたいのは「私は聖人君子ではありません。偽善者でもありません。平凡なひとりの人間です。否、一般・平均的な人と比べると、より欲深く、愚かで品性に劣ると思います。だからこそ、少しでも勉強して品性を上げなければならぬ」と思っています(大変難しいですが)。私は『良い所出し、格好つけ、おちよこちよい』という表現がぴったりでしょうか。

この『にこにこ通信』は読者の皆様方のお届けしているのではありません。私の為に、私だけの為に皆様方にお届けしているのです。私の身の周りの出来事に対して、私が思ったこと・感じたことを皆様にお知らせし、それに対する皆様のご意見を頂いて、今後の私の考え方・人格向上の糧と致したいと思ひ、お届けしている次第です。

読者の皆様に説教しようとか、皆様に教化しようとか、そんな生意気な、恐れ多い気持ちはさらさらありません。但、面白く楽しく読んで頂くようにと針小棒大にした大げさな表現は多々あると思います。また「こうあるべき」と言う断定的な記し方も多々あると思ひますが、これも当然のことですが、あくまで私個人の考え・意見で「私はこう思う。私に言わせればこうあるべきだ」と言っているのだから、その道を深く研究された立派な先生の「これはこうです」と言われる、いわゆる一般的に通用している立派な説と一緒にはしないでください(ほとんどの読者の皆様はそんな事を承知で読んでくださっていると思ひますが、この手紙の主のように私を誤解・過大評価している人へ)。

私がこの『にこにこ通信』の記事を綴る際は、私の想いだけで綴る場合と、いくら浅学非才でも、嘘や無い事を書いて後でお叱りを受けてはいけないうそのことに関して少し調査・勉強して書く場合があります。全部、私の身に着いた知識・考えでは有りません。ですから、書いた後忘れてしまっている事も沢山あります。それなのに書かれている事、私の頭の中から、心の奥からの発露の結果だと思われると、私を過大評価され、その割りに伴っていない行動に対し疑心が起るのだと思ひます。言い替

えれば、書いてある事は私の理想・理屈で、今のところ行動が伴っていない点も多々あると思ひます。「他人にものを言う時は、率先範例、自ら努力し身につけた上で範を示すべきである」と言うのは、先記の、その道を深く研究された立派な先生方にあてはまる一般的な考え方であり、ご尤もだと私も思ひます。但、人一倍欲深く、愚かで品性に劣る私には、あてはまりません。自分が一人前に成ってからやると言うなら、私の場合、一生かかっても、否、来世までかけてもできないと思ひます。「そんならこの上な通信を発刊するのを止めなさい」と言われそうですが、その点はひらに「容赦願ひ、併せてこの愚か者が愚かな方法で、皆様に迷惑をかけながら自分なりに自らの向上を図っている修業に、ご協力賜りますようお願い申し上げます次第であります。」

以上が、私が本通信を皆様にお届けしている趣旨、心中であります。

鑑みれば、私の未熟な人格と文章表現力の拙さが皆様方の貴重な時間を浪費をさせているだけでなく、要らざる誤解をもたらしたのではないかと反省しています。今後は、本通信発刊の本来の趣旨に誤解のないような文章を心がけたいと存じます。

それで、先号までの巻頭の辞「お世話になりありがとうございます。」

『人は何の為にこの世の中へ生まれて来たのでしょうか』『人生の本来の目的は何なのでしょう』という二つを皆様と一緒に考え、意見を交換し相つて、共に研鑽を深めて行きたい。そんな思いで本通信をお届けしている次第です。どうか忌憚のないご意見をお寄せくださいませ。も、本号巻頭の如くに変えさせて頂きます。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。蛇足ですが、手紙の後半「この様な事を書いたのは云々」に対しては反論いたします。

『和』を以て尊しとすべし』と言われた聖徳太子の教えを素直に守ろうとするいかにも日本人的考え方、他人に嫌われず、仲良くして行くためには、あまり目立たないよう、でしゃばらないよう、おとなしくしていた方が良いですよ』との忠告かと思ひます。確かに人には嫌われず、仲良くして行くに越したことはありません。しかし、個々にはその個々各々の考え・哲学・やり方があります。そこには好き嫌い・対立が生じるでしょう。それは当然・自然なことであり仕方のないことだと思ひます。

私の場合、自分と意見・考え方違った人、気に入らない人がいたら、できることなら直接、意見を

戦わせ論を交えたいと思ひます。その結果、相手はこちらの意見に同調するかも知れないし、こちらが考え違いをしていたのであって、相手のことを理解できるかも知れません。そこでまた、それ以前の何もないままの状態より少しでも前進できるのでないかと思ひます。

直接、会話もせず陰で密やかに人のことを嫌っている本人には分りませんし、自分の心が曇るだけでしよう。また、そこまでするほど関心がないなら、好きも嫌いもない、ほっておけばいいじゃありませんか。利口ぶつて偉そうなことを言う人には言わせておけば良いのではありませんか。

また、48年前、480名いた同級生の中の、好き嫌いのほげしい同級生の一人に嫌われている由、知らせてくれた貴方も誰だか分りませんし、その人も誰だか分りません。嫌いと言われても言い訳も出来ません。そんな人と仲良くなる気は今の私にはありません。

しかし、こんな未熟な私でも、本当に磨いてやろうと思ひながら、匿名ではなく堂々と名乗り挙げてご意見ください。その上でなら大いに論を交し、その結果を自分を磨く糧にしたいと思ひます。

二 過ちを改むるに憚ること勿れ
日本の歴史教科書問題です。太平洋戦争終戦直前の沖繩における住民の集団自決に、軍の介入があった部分を削除してあると、沖繩県民が抗議しているようですが報道されていません。人には色々な考え方がありますが、私は軍の指導甚だしくは命令・強制があったのではないかと思ひます。私も日本人のひとりとして、信じたくない、無視・弁護したい思ひは山々ですが、この度の戦争における日本軍の仕様が尋常ではありません。

大本営発表は大嘘の戦況報告、硫黄島をはじめ多くの島々での勝ち目のない戦に対する玉碎命令、命を軽視した特攻作戦、中国での乱暴狼藉、朝鮮人慰安婦問題など国の内外を問わず軍の面子のみを重んじた狂人の仕業です。

「そんな事実があった」と明記しないまでも「あったことは大いに想像できる」という書き方にしてでも、指導者の間違ひは大勢の人を巻き込み、重大な損害をもたらす事、万が一間違つたら躊躇なく正すべきことを教えるべきだと思ひます。

有限会社 沖商店 代表取締役 沖昌弘

個人メール E-mail Oki2525@oki-shouten.com

にこにこ通信への意見をはじめ個人的な連絡は「おちよこちよい」